

調査票

1 郵送調査

「令和6年度 足立区の子育て世帯に関するアンケート調査」

調査のご回答は「インターネット」または「郵送」にてお願いいたします。
(本調査票に記入してご投函いただいた場合は、インターネットでのご回答は不要です)

【インターネット回答ページ】※回答にあたっては同封の依頼状裏面をご覧ください。

URL : <https://hst.netr.jp/2024adc/>

二次元コード

ID	パスワード



※ アンケートの回答は、個人が特定できない形で統計的に処理したうえで活用させていただきます。

▶ (Q1) ~ (Q3) までは全ての世帯がご回答ください

(Q1) アンケートにご回答いただいている方を、お子様から見た関係からお選びください
(該当する番号に1つだけ○をつけてください)。

1 父	3 祖父・祖母
2 母	4 その他 ()

(Q2) あなたの年齢をお選びください (該当する番号に1つだけ○をつけてください)。

1 20歳未満	5 35~39歳	9 55~59歳	13 80歳以上
2 20~24歳	6 40~44歳	10 60~64歳	
3 25~29歳	7 45~49歳	11 65~69歳	
4 30~34歳	8 50~54歳	12 70~79歳	

(Q3) お子様以外に一緒に暮らしている家族についてあてはまるものを、お子様から見た関係からお選びください (該当する番号すべてに○をつけてください)。

1 父	4 祖母	7 その他 ()
2 母	5 叔父・叔母	
3 祖父	6 叔父・叔母以外の親戚	

(次ページに続きます)

▶**全ての世帯がご回答ください**

(Q4) あなたの世帯の家計の状況について、あてはまるものをお選びください（該当する番号に1つだけ○をつけてください）。

1 大変苦しい	3 普通	5 ゆとりがある	7 答えたくない
2 やや苦しい	4 ややゆとりがある	6 わからない	

▶**全ての世帯がご回答ください**

(Q5) あなたの世帯の家計の中で、「お金がかかっている」費目と「本当はお金をかけたいが、かけられていない」費目をそれぞれ最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

(Q5) 回答欄	1つ目	2つ目	3つ目	「18 その他」は、 具体的な内容をご記入ください。
「お金がかかっている」費目				
「本当はお金をかけたいが、 かけられていない」費目				

【費目】

1 食費
2 日用品費
3 住宅費（住宅の購入・ローン、家賃、管理費など）
4 光熱水費
5 通信費（固定・携帯電話代、インターネット接続料など）
6 保険料（生命保険、医療保険、学資保険など）
7 車両費（自動車・バイクなどの購入費やローン、駐車・駐輪場代、車検代など）
8 子どもの教育費用（保育園・幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校など）
9 子どもの学習塾代（家庭教師・通信教育含む）
10 子どもの習い事代（学習塾・家庭教師・通信教育除く）
11 税金・健康保険料・介護保険料・年金
12 交通費（通勤・通学の定期代など）
13 医療・介護費（通院・入院代、医薬品代、介護保険サービス代など）
14 交際費（食事会・飲み会、ご祝儀など）
15 被服・美容代（洋服、化粧品、美容院など）
16 娯楽費（書籍・映画などの趣味、レジャー、旅行など）
17 貯蓄・投資
18 その他
19 特になし

（次ページに続きます）

▶**全ての世帯がご回答ください**

(Q6) 同居・別居を問わず、お子様の人数をお選びください(該当する番号に1つだけ○をつけてください)。

※ この設問は、「0歳～22歳のお子様」についてのみ回答をお願いします。

1 1人	2 2人	3 3人	4 4人	5 5人以上
------	------	------	------	--------

▶**全ての世帯がご回答ください**

(Q7) 1番下のお子様から若い順に5人目までの年齢を回答欄にご記入ください。また、通園・通学の状況について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

※ この設問は、「0歳～22歳のお子様」についてのみ回答をお願いします。

(Q7) 回答欄	年齢	通園・通学の状況				
1番下のお子様	歳	1 通園していない (6歳以下)	3 小学校1～3年生	7 専門学校	8 短期大学	9 大学・大学院
		2 保育園・幼稚園 ・認定こども園	4 小学校4～6年生	5 中学校	6 高校	10 通学していない
下から 2番目の お子様	歳	1 通園していない (6歳以下)	3 小学校1～3年生	7 専門学校	8 短期大学	9 大学・大学院
		2 保育園・幼稚園 ・認定こども園	4 小学校4～6年生	5 中学校	6 高校	10 通学していない
下から 3番目の お子様	歳	1 通園していない (6歳以下)	3 小学校1～3年生	7 専門学校	8 短期大学	9 大学・大学院
		2 保育園・幼稚園 ・認定こども園	4 小学校4～6年生	5 中学校	6 高校	10 通学していない
下から 4番目の お子様	歳	1 通園していない (6歳以下)	3 小学校1～3年生	7 専門学校	8 短期大学	9 大学・大学院
		2 保育園・幼稚園 ・認定こども園	4 小学校4～6年生	5 中学校	6 高校	10 通学していない
下から 5番目の お子様	歳	1 通園していない (6歳以下)	3 小学校1～3年生	7 専門学校	8 短期大学	9 大学・大学院
		2 保育園・幼稚園 ・認定こども園	4 小学校4～6年生	5 中学校	6 高校	10 通学していない

(次ページに続きます)

▶全ての世帯がご回答ください

(Q8) 子どもの教育費用のうち、費用負担が大きいと感じている費目を上から順番に最大3個まで選択肢から選び、該当する番号をご記入ください。また、その費目に実際にどれくらいのお金がかかっているか、「月額」「単発(入園料や入学料のような一時的な費用)」を選択のうえ、およその金額もご記入ください。

※ この設問は、「0歳～22歳のお子様」についてのみ回答をお願いします。

(Q8) 回答欄	順位	選択肢番号	「月額」「単発」をお選びください。	金額を「数値」でご記入ください。	「31 その他」は具体的な費目をご記入ください。
1番下のお子様	1位		1 月額 2 単発	円	
	2位		1 月額 2 単発	円	
	3位		1 月額 2 単発	円	
下から2番目のお子様	1位		1 月額 2 単発	円	
	2位		1 月額 2 単発	円	
	3位		1 月額 2 単発	円	
下から3番目のお子様	1位		1 月額 2 単発	円	
	2位		1 月額 2 単発	円	
	3位		1 月額 2 単発	円	
下から4番目のお子様	1位		1 月額 2 単発	円	
	2位		1 月額 2 単発	円	
	3位		1 月額 2 単発	円	
下から5番目のお子様	1位		1 月額 2 単発	円	
	2位		1 月額 2 単発	円	
	3位		1 月額 2 単発	円	

【選択肢】※ 【保育園・幼稚園・認定こども園】は「1～7、29～32」、【小学校・中学校・高校・専門学校・短大・大学・大学院】は「8～32」、【通園・通学していない】は「29～32」から選択ください。

保育園・幼稚園・こども園	12 副教材代	24 自然教室費
1 入園料	13 通学費(定期代・駐輪代など)	25 校外活動費
2 保育料・延長保育料	14 ランドセル・通学かばん代	(遠足・社会見学など)
3 給食費	15 制服・靴代(上履き含む)	26 部活動費(サークル含む)
4 おやつ代	16 体育用品	27 卒業記念アルバム費
5 送迎費	(体操服・靴・帽子・水着など)	28 学童保育料
6 行事費	17 文房具代	共通
7 教材代	18 習字道具	29 学習塾・家庭教師・通信教育代
小学校・中学校・高校・専門学校・短大・大学・大学院	19 裁縫道具	30 習い事代(学習塾・家庭教師・通信教育除く)
8 受験料	20 美術用具(絵の具など)	31 その他
9 入学料	21 図工・技術用具(彫刻刀など)	32 負担に感じる費用はない
10 授業料	22 楽器(リコーダー・鍵盤ハーモニカなど)	
11 教科書代(必須図書含む)	23 修学旅行費	

(次ページに続きます)

▶**全ての世帯がご回答ください**

(Q9) **現在お子様を産み育てている中で、どのような支援があれば、子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながると感じますか。重視する順番に最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。**

	1位	2位	3位
(Q9) 回答欄			

- 1 妊娠・出産（不妊治療、無痛分娩など含む）にかかる費用補助
- 2 保育園・幼稚園にかかる費用補助（保育料・延長保育料、給食費、送迎費、行事費など）
- 3 保育園・幼稚園サービスの向上
（保育・幼児教育カリキュラムの充実、施設・設備の安全性向上など）
- 4 小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助
（入学料、授業料、学用品費、修学旅行費、校外活動費、部活動費など）
- 5 学童保育サービスの向上（待機児童の解消、特別延長保育の拡充など）
- 6 学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助
- 7 公的な相談窓口の充実（子育ての不安な気持ちや悩み、子どもの成長・発達、不登校など）
- 8 子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援
- 9 家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート
- 10 食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
- 11 育児用品（ベビーベッド、ベビーカー、チャイルドシートなど）にかかる費用補助
- 12 家賃（敷金・礼金含む）など住まいにかかる費用補助
- 13 子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋
- 14 安定した収入につながる仕事・求人情報の提供
- 15 育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援
- 16 小児医療体制の充実（急な病気時にも対応してくれる医療）
- 17 その他
- 18 特にない、わからない

▶**(Q9) で「18 特にない、わからない」以外を選んだ世帯がご回答ください**

(Q10) 前設問 (Q9) の回答で**具体的に望んでいる支援内容**があればご記入ください。

(次ページに続きます)

▶ 1番下のお子様（お子様が1人の場合はその子）が16歳以上の世帯がご回答ください

（Q11）これまでお子様を産み育ててきた過去を振り返り、当時どのような支援があれば、子どもの産みやすさや子育てのしやすさにつながったと感じますか。お子様の年代ごとに重視する順番に最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

（Q11）回答欄	1位	2位	3位
お子様が0～6歳（未就学）の時期			
お子様が7～12歳（小学生）の時期			
お子様が13～15歳（中学生）の時期			
お子様が16～22歳（高校生・大学生 相当）の時期			

- 1 妊娠・出産（不妊治療、無痛分娩など含む）にかかる費用補助
- 2 保育園・幼稚園にかかる費用補助（保育料・延長保育料、給食費、送迎費、行事費など）
- 3 保育園・幼稚園サービスの向上
（保育・幼児教育カリキュラムの充実、施設・設備の安全性向上など）
- 4 小学校・中学校・高校・大学・専門学校等にかかる費用補助
（入学料、授業料、学用品費、修学旅行費、校外活動費、部活動費など）
- 5 学童保育サービスの向上（待機児童の解消、特別延長保育の拡充など）
- 6 学習塾・家庭教師・通信教育や習い事にかかる費用補助
- 7 公的な相談窓口の充実（子育ての不安な気持ちや悩み、子どもの成長・発達、不登校など）
- 8 子育て世帯同士で情報共有・情報交換できる場づくりの支援
- 9 家事や子どもの世話をしてくれる人的サポート
- 10 食費・衣類などの日常生活にかかる費用補助
- 11 育児用品（ベビーベッド、ベビーカー、チャイルドシートなど）にかかる費用補助
- 12 家賃（敷金・礼金含む）など住まいにかかる費用補助
- 13 子育て世帯向けの住宅の紹介・斡旋
- 14 安定した収入につながる仕事・求人情報の提供
- 15 育児休業が取りやすいなど安心して子育てができる職場の理解・支援
- 16 小児医療体制の充実（急な病気時にも対応してくれる医療）
- 17 その他
- 18 特にない、わからない

▶（Q11）で「18 特にない、わからない」以外を選んだ世帯がご回答ください

（Q12）前設問（Q11）の回答で具体的に望んでいた支援内容があればご記入ください。

（次ページに続きます）

▶**全ての世帯がご回答ください**

(Q13) あなたの世帯において**理想とする子どもの人数は何人**ですか。あてはまるものをお選びください（該当する番号に1つだけ○をつけてください）。

1	1人	2	2人	3	3人	4	4人	5	5人以上
---	----	---	----	---	----	---	----	---	------

(Q13_1) 実際の子どもの人数と理想の子どもの人数について、あてはまるものをお選びください（該当する番号に1つだけ○をつけてください）。

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない |
| 2 | 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数と同じ |
| 3 | 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より多い |

▶ (Q13_1) で「1 実際の子どもの人数は理想の子どもの人数より少ない」と回答した世帯がご回答ください

(Q14) **理想とする子どもの人数を持っていない理由・要因**は何ですか。**理由・要因として大きい順番に最大3個まで**選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

	1位	2位	3位
(Q14) 回答欄			

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1 | これから理想とする子どもの人数の妊娠・出産を予定している |
| 2 | 妊娠を希望しているが妊娠しにくい（健康上の理由や不妊・不育など） |
| 3 | 年長的に妊娠・出産することにリスクがある |
| 4 | 自分やパートナーとの時間・生活を大切にしたい |
| 5 | パートナーが妊娠・出産を望まない |
| 6 | 今以上に子育ての肉体的・心理的負担に耐えられない |
| 7 | 子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない |
| 8 | 子育てや教育にお金がかかりすぎる |
| 9 | 子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい |
| 10 | 働きながら子育てができる職場環境が整っていない |
| 11 | 子どもをのびのびと育てられる環境ではない |
| 12 | その他（具体的に： _____) |
| 13 | 特に理由や要因はない |
| 14 | 答えたくない |

（次ページに続きます）

▶**全ての世帯がご回答ください**

(Q15) あなたはなぜ、日本の出生率が伸び悩んでいると思いますか。原因として大きいと思う順番に最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

	1位	2位	3位
(Q15) 回答欄			

- 1 結婚相手に巡り会えない人が増えた
- 2 結婚する時期が遅くなっている人が増えた
- 3 自分だけ（パートナーと二人だけ）の時間・生活を大切にする人が増えた
- 4 子どもを持つ必要性を感じない人が増えた
- 5 子育てにかかる肉体的・精神的負担が大きい
- 6 子育てや家事の分担に対するパートナーの理解・協力が得られない
- 7 親族や知人らに子育てなどの手助けをお願いできる環境にない
- 8 子育てに関する不安や悩みを相談できる相手がいない
- 9 子育てや教育にお金がかかりすぎる
- 10 子育てに十分な広さの家を持つことが経済的に難しい
- 11 働きながら子育てができる職場環境が整っていない
- 12 その他（具体的に： _____)
- 13 わからない

▶**全ての世帯がご回答ください**

(Q16) 現在もしくは直近1年間において、学校や部活動以外でお子様にさせている・させた習い事（学習塾・家庭教師・通信教育を除く）や体験のジャンルをお選びください
(該当する番号すべてに○をつけてください)。

- 1 スポーツ・運動の習い事（球技、水泳、武道、体操教室、ダンス、バレエなど）
- 2 文化芸術の習い事（楽器演奏、絵画教室、ミュージカル、茶道、華道、合唱、将棋など）
- 3 競技場・スタジアム等でのスポーツ・運動の観戦
- 4 文化芸術の鑑賞（動物園・水族館・美術館等の見学、音楽・演劇・舞台の鑑賞など）
- 5 自然体験（キャンプ、登山、川遊び、釣り、海水浴など）
- 6 社会体験（農業体験、職業体験、ボランティア、地域行事・お祭りなど）
- 7 その他（具体的に： _____)
- 8 特に習い事や体験はさせていない

(次ページに続きます)

▶**全ての世帯がご回答ください**

(Q17) 現在お子様にさせられていないが、できればさせたいと考えている習い事(学
習塾・家庭教師・通信教育を除く)や体験の具体的な内容について、重視する順番に
最大3個まで回答欄にご記入ください。

	1位	2位	3位
(Q17) 回答欄			

※ 各項目で「その他」を選んだ方は該当する選択肢の()欄に具体的にご記入ください。

【スポーツ・運動の習い事】	
1	水泳
2	野球・ソフトボール
3	サッカー・フットサル
4	バスケットボール
5	体操教室
6	陸上競技
7	乗馬
8	空手
9	剣道
10	ダンス
11	バレエ
12	ボルダリング
13	その他()
【文化芸術の習い事】	
14	ピアノ
15	ヴァイオリン
16	合唱
17	演劇・ミュージカル
18	アート(絵画、造形、工作含む)
19	外国語
20	書道(習字)
21	囲碁・将棋・チェス
22	そろばん
23	ロボット教室・プログラミング
24	和太鼓
25	その他()

【文化的な体験】	
26	球技場等でのスポーツ観戦
27	音楽鑑賞・演劇や舞台鑑賞
28	動物園・水族館見学
29	博物館・美術館見学
30	留学・ホームステイ
31	異文化交流会への参加
32	その他()
【自然体験】	
33	キャンプ・アウトドア
34	登山・ハイキング
35	川遊び・釣り
36	海水浴
37	サーフィン・スキューバダイビング
38	スキー・スケート
39	その他()
【社会体験】	
40	農業体験
41	職業体験
42	ボランティア活動
43	地域行事・お祭り・イベントの参加
44	山村留学
45	ワークショップ
46	その他()
47	させたい習い事や体験はない

(次ページに続きます)

▶ (Q17)で「させてみたい習い事や体験がある」と回答した世帯（選択肢1～46を選んだ世帯）がご回答ください

(Q18) できればお子様にさせてみたいが、実際に習い事（学習塾・家庭教師・通信教育を除く）や体験をさせられていない理由として大きい順番に最大3個まで選び、該当する番号を回答欄にご記入ください。

(Q18) 回答欄	1位	2位	3位

- 1 子どもの習い事や体験に費やせる金銭的余裕がない
- 2 保護者として子どもに習い事や体験をさせる時間的余裕がない
- 3 保護者として子どもに習い事や体験をさせる精神的・体力的余裕がない
- 4 子ども本人が習い事や体験に費やせる時間的余裕がない
- 5 子ども本人が習い事や体験をしたがらない
- 6 子どもに習い事や体験をさせることについてパートナーや家族からの同意・理解が得られない
- 7 子どもに習い事や体験をさせることに安全面の不安がある
- 8 近所に習い事や体験をさせる場所がない
- 9 子どもが習い事や体験をできる年齢にまだ達していない
- 10 その他（具体的に： _____)
- 11 理由は特にない

▶ 全ての世帯がご回答ください

(Q19) 子育て支援に関するご意見等があれば自由にご記入ください。

（次ページに続きます）

▶ (Q20) ~ (Q24) までは全ての世帯がご回答ください

(Q20) あなたのお住まいの地域を含む番号をお選びください(該当する番号に1つだけ○をつけてください)。

<地域区分図>



番号	地区町丁名目
1	千住関屋町、千住曙町、千住東一丁目～二丁目、千住旭町、柳原一丁目～二丁目、日ノ出町、千住橋戸町、千住河原町、千住仲町、千住緑町一丁目～三丁目、千住宮元町、千住中居町、千住龍田町、千住桜木一丁目～二丁目、千住一丁目～五丁目、千住大川町、千住寿町、千住元町、千住柳町
2	小台一丁目～二丁目、宮城一丁目～二丁目、新田一丁目～三丁目、鹿浜一丁目、堀之内一丁目～二丁目、椿一丁目、江北一丁目～五丁目、扇二丁目
3	西新井本町一丁目～五丁目、扇一丁目、扇三丁目、興野一丁目～二丁目、本木一丁目～二丁目、本木東町、本木西町、本木南町、本木北町
4	西新井栄町一丁目～三丁目、関原一丁目～三丁目、梅田一丁目～八丁目、梅島一丁目～三丁目
5	足立一丁目～四丁目、西綾瀬一丁目～四丁目、中央本町一丁目～五丁目、弘道一丁目～二丁目、青井一丁目～六丁目
6	加平一丁目、綾瀬一丁目～七丁目、東綾瀬一丁目～三丁目、谷中一丁目～二丁目
7	東和一丁目～五丁目、中川一丁目～五丁目
8	大谷田一丁目～五丁目、佐野一丁目～二丁目、辰沼一丁目～二丁目、六木一丁目～四丁目、神明一丁目～三丁目、神明南一丁目～二丁目、北加平町、加平二丁目～三丁目、谷中三丁目～五丁目
9	西加平一丁目～二丁目、六町一丁目～四丁目、一ツ家一丁目～四丁目、保塚町、東六月町、平野一丁目～三丁目、保木間一丁目～二丁目、南花畑一丁目～三丁目、東保木間一丁目～二丁目
10	花畑一丁目～八丁目、南花畑四丁目～五丁目、保木間三丁目～五丁目
11	西保木間一丁目～四丁目、竹の塚一丁目～七丁目、六月一丁目～三丁目、島根一丁目～四丁目、栗原一丁目～二丁目
12	西新井一丁目～七丁目、栗原三丁目～四丁目
13	西伊興町、西伊興一丁目～四丁目、伊興一丁目～五丁目、西竹の塚一丁目～二丁目、東伊興一丁目～四丁目、伊興本町一丁目～二丁目
14	谷在家一丁目～三丁目、鹿浜二丁目～八丁目、椿二丁目、江北六丁目～七丁目、加賀一丁目～二丁目、皿沼一丁目～三丁目
15	舎人一丁目～六丁目、入谷一丁目～九丁目、古千谷一丁目～二丁目、古千谷本町一丁目～四丁目、入谷町、舎人町、舎人公園

(次ページに続きます)

(Q21) あなたの世帯の主たる生計者（主な収入を得ている方）の就業状況をお選びください
（該当する番号に1つだけ○をつけてください）。

1 正社員・公務員	5 パート・アルバイト
2 派遣・嘱託・契約社員	6 その他（ ）
3 会社経営者・役員	7 働けない・働いていない
4 自営業・自由業	

(Q22) あなたの世帯で就労している方を、お子様から見た関係からお選びください（該当する番号すべてに○をつけてください）。

1 父	4 祖母	7 兄弟・姉妹
2 母	5 叔父・叔母	8 その他（ ）
3 祖父	6 叔父・叔母以外の親戚	9 誰も働いていない

(Q23) 世帯全体の年収（賞与を含めた手取り額）をお選びください（該当する番号に1つだけ○をつけてください）。

※ 1万円未満は四捨五入してご回答ください。

1 200万円未満	6 1,000～1,199万円	11 2,000万円以上
2 200～399万円	7 1,200～1,399万円	12 収入はない
3 400～599万円	8 1,400～1,599万円	13 答えたくない
4 600～799万円	9 1,600～1,799万円	
5 800～999万円	10 1,800～1,999万円	

(Q24) あなたのお住まい（住居）についてあてはまるものをお選びください（該当する番号に1つだけ○をつけてください）。

1 一戸建て持家	5 都市再生機構（旧公団）・公社・都営住宅・区営住宅
2 一戸建て借家	6 社宅・公務員住宅・寮
3 分譲マンション	7 間借り・住み込み
4 賃貸マンション・アパート	8 その他

—— アンケート調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました ——

令和6年度
足立区の子育て世帯に関する
アンケート調査 報告書

令和7年3月

発行 足立区

編集 政策経営部 政策経営課

東京都足立区中央本町1-17-1

電話 03-3880-5811